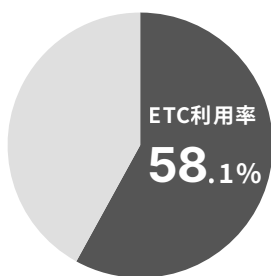


ETC専用化に向けた取り組み

ETC利用率の向上、本線料金所の撤去

ETC利用率は20年間で約**58.1%**⇒約**98.5%**まで向上

民営化時 2005年9月



現在 2025年6月



不要となった本線料金所を撤去

⇒よりスムーズな通行を実現



撤去前



撤去後

ETC専用化の導入・拡大

2020年2月、首都高初のETC専用入口として横浜北線の馬場入口が開通した後、2022年3月に5箇所、2022年4月に29箇所、計35箇所（2025年4月時点）でETC専用入口の運用を開始

① ②

2022年4月
ETC専用入口(霞が関入口)の
運用を開始



③⑤

2020年2月
首都高初の
ETC専用入口(馬場入口)が開通

